

いよいよ始まる新型コロナワクチン接種

新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について、江東区の概要が公表されました。区内6会場での集団接種か、約180か所の医療機関での個別接種が選択できます。接種を希望する方は無料(全額公費)で接種を受けることができます。まず、65歳以上の高齢者[※]への接種券が4月22日から発送される予定です。

希望者全員に無料で!!

高齢者、4月下旬から

ワクチン接種のスケジュール

- 【対象者】原則、江東区内に住民登録がある16歳以上の方
 【接種回数】2回(ファイザー社製は1回目の接種から3週間後に2回目を接種)
 【接種費用】無料
 【接種方法】事前に予約専用ホームページまたはコールセンターに電話で予約のうえ、当日会場へ

【区民への接種順位(3月22日現在)】

- 1 高齢者(令和3年度中に65歳に達する、昭和32年4月1日以前に生まれた方)[※]
- 2 高齢者以外で基礎疾患(慢性の呼吸器の病気や心臓病・腎臓病・肝臓病等)がある方
- 3 高齢者施設等で従事している方
- 4 60~64歳の方
- 5 それ以外の方



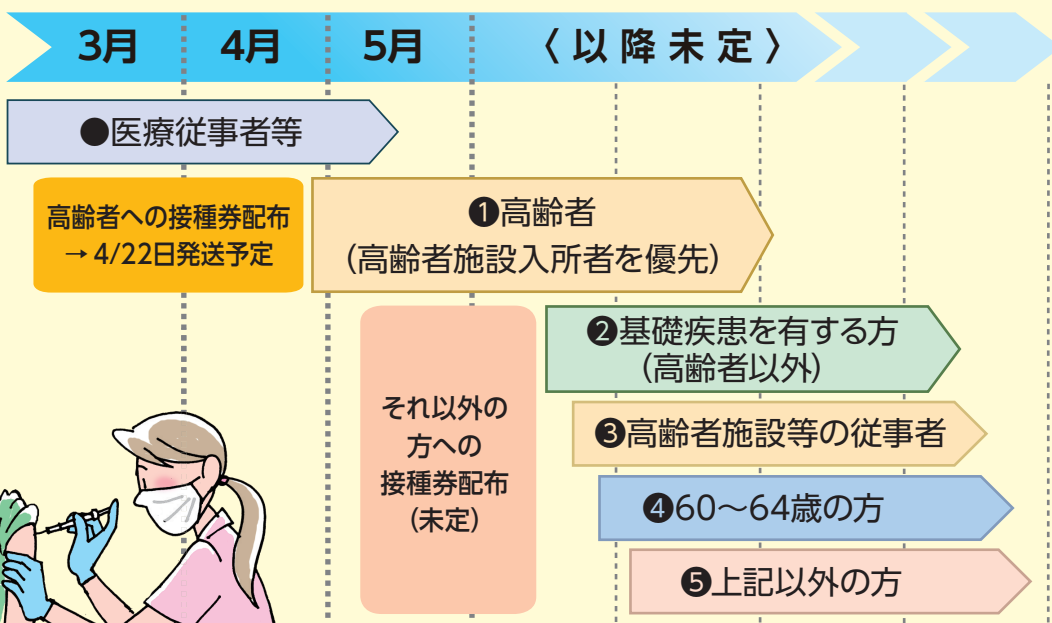
▲最新情報は
こちらから



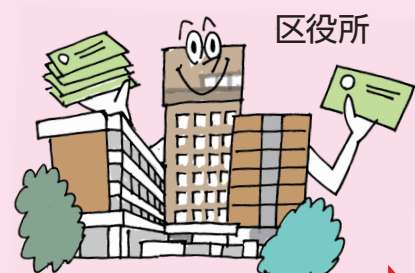
【接種スケジュール】

※3/22現在

※スケジュールは国の指針、ワクチンの供給量等によって変更になる場合があります。



ワクチン接種の流れ



接種券を郵送

区は4月22日から接種券を高齢者から順次発送

4月22日以降、住民票所在地に接種券が届きます



電話・ウェブで予約

集団接種か個別接種かを選んで予約します

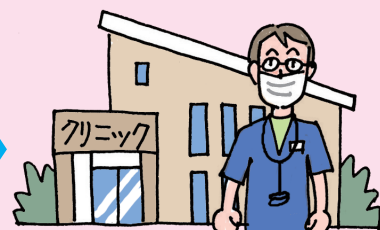
江東区新型コロナワクチン接種コールセンター

☎ 0570-011-008

8:30~17:30(月~金曜(祝日を除く))

予約専用ホームページ(準備中)

予約先で接種



個別接種

診療所・クリニックなど約180か所

集団接種

スポーツ施設大体育室 6か所(スポーツ会館・深川・深川北・亀戸・東砂・有明スポーツセンター)

ネットワーク政党・公明党ならではの新型コロナワクチン接種取組みの歩み

●2020年5月28日

各党に先駆けてワクチンと治療薬の開発・実用化に特化した党PT(新型コロナウイルス感染症ワクチン・治療薬開発推進PT)を設置 PT:プロジェクトチーム

●2020年7月20日

ワクチン原液の輸入、国内での製造も選択肢に入れて取り組みを進めることなどを政府に提言

●2020年9月15日

公明党は途上国がワクチン接種に取り残されない

ようにするための国際的枠組み、COVAX(コバックス)ファシリティー参加を政府に提言。日本政府は先進国でいち早く参加を表明。

●2021年1月15日

細田いさむ都議をはじめ公明党江東総支部として山崎区長にワクチン接種に関する要望書を提出

●2021年1月22日

都議会公明党が新型コロナワクチン接種への支援を盛り込んだ緊急要望を小池都知事に提出。

●2021年1月30日

公明党東京都本部、新型コロナウィルスワクチン接種対策本部を設置

●2021年2月1日

都議会公明党がワクチン接種への支援に関する緊急要望を小池都知事に提出。国と東京都は市町村と緊密に連携し支援を行うよう要望。

●2021年2月28日

オンライン会議でワクチン接種対策本部の全国会議を開催。ワクチン接種記録システム導入に関する自治体意向調査を全国で展開することに決定。

●2021年2月28日~3月7日まで

全国の公明党議員がワクチン接種についての自治体調査を実施。

区民を守る政策続々。都議会公明党はネットワークの力で都政をリード！

東京都議会公明党が、都民の切実な声を受け、都知事に申し入れた新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急要望は実に42回、338項目に上ります。議会質問も重ね、抜群の政策実現力で都政をリードしてきました。都の2020年度補正予算や21年度当初予算・補正予算などに反映された、命と暮らしを守る施策の一端をご紹介します。

女性支援の交付金拡充

経済的理由で買えない生理用品の負担軽減へ

若者の5人に1人が経済的な理由で生理用品の入手に苦労する「生理の貧困」に直面しているという調査結果を受け、公明党東京都本部の議員、党員らが各地で緊急要望を展開。政府は新型コロナウイルスに対応するための予備費を活用し、こうした女性への対策を決定しました。



ネットワーク政党、公明党 ならではの取り組みで早期に実現！

配布用生理用品▶



4月1日

3月17日

3月12日

3月4日

・公明党佐々木さやか参議院議員が予算委員会で「**生理の貧困**」問題について政府に対応を求める。
・経済的な事情等から生理用品の購入が難しい「**生理の貧困**」に直面する女性を支援するため、**細田いさむ都議**をはじめとする**公明党江東総支部**が江東区長へ「**コロナ禍での女性の負担軽減に関する緊急要望**」を行い、区長は「検討する」と答えた。
・都議会公明党は**厚生委員会**で、更新時期を迎えた防災備蓄品の有効活用を提案。防災備蓄品の在庫がないなど対応が難しい自治体支援の必要性を求めた。都は自治体意向調査を行い、**必要な自治体への配布を決定**。
・江東区は、コロナ禍で金銭的理由等により生理用品を購入できない女性のために、**4月5日(月)から支援をスタート**。【配布場所は①江東区男女共同参画推進センター(扇橋3-2-2 パルシテイ江東内)、②江東区社会福祉協議会(東陽6-2-17)】※無くなり次第、配布終了。現在都議会公明党は、「**生理の貧困**」に直面する女性支援のため、**学校における生理用品の無償提供などを要望中**。

新型コロナから暮らしを守る

高齢者通所施設へPCR検査を拡大

認知症グループホームなど高齢者入所施設の利用者や職員を対象に、東京都が集中的にPCR検査を実施することに関し、都議会公明党は入所施設だけでなく、「(デイサービスなどの)通所介護施設でも集中的に検査すべきだ」と主張。これを受けて、小池百合子都知事は3月18日、入所施設に加え、約4400カ所の通所施設関係者7万人を対象に、検査する方針を示しました。

後遺症相談窓口 都立病院に設置

新型コロナ感染後に回復したものの、強い倦怠感や気持ちの落ち込みなどの後遺症で苦しむ人が増えていることから、都議会公明党は「速やかな対策が重要だ」と訴えました。これに対し都知事は、都立・公社病院の患者支援センターで3月中をめどに、「**新たに後遺症相談窓口を設置する**」と答えました。また、医療機関と連携し**後遺症についてのオンライン調査**も実施されます。

変異株流行に備え 監視体制を強化

感染力が強いとされる新型コロナの変異株の監視体制を強化するため、都議会公明党は、**陽性が判明した全ての人に、変異株の有無を確認する検査の実施**を求め、都側は、検査規模を拡大する方針を示しました。さらに、3月18日の会見で都知事は、2月中に新規陽性者数の約10%を対象に実施していた変異株検査を、早期に「**40%をめざし拡大する**」と述べました。

新型コロナの相談窓口

◆新型コロナウイルス感染症についての相談 江東区新型コロナウイルス感染症相談センター

Tel. 03-3647-5879 平日8時30分～17時15分



江東区HP
新型コロナウイルス感染症について

◆発熱などの症状がある 東京都発熱相談センター

Tel. 03-5320-4592 毎日24時間受け付け

※かかりつけ医がいる方は、かかりつけ医に相談を

◆感染予防や症状が出た時の対応が知りたい 東京都新型コロナコールセンター

ナビダイヤル 0570-55-0571 毎日午前9時～午後10時

※英語・中国語・韓国語にも対応 ※聴覚障害のある方はFAXで。FAX番号 03-5388-1396

新型コロナウイルス感染症に伴う
助成金・給付金等についてはこちら



東京都議会議員 公明党江東総支部 総支部長 細田 いさむ

